

音楽 II Tutti+ 検討の観点と特色 (17 教出 音 II 701)

| 項目 | 観 点 | 特 色 等 |
|------------------|---|--|
| 1 内容の選択・程度 | <p>*学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材</p> <p>*基礎的・基本的事項の理解や習得のための配慮</p> | <p>○学習指導要領に示された学習項目を網羅し、偏りなく構成されている。</p> <p>○Voice、Instruments、Appreciation、Dramas & Musicのブロックから構成され、「芸術科 音楽 I / 音楽 II」の学習事項を獲得するために十分な教材数と内容となっている。</p> <p>○巻末の楽典、音楽史年表、ギターやキーボードのコード表は、生徒が自ら表現教材に記されている用語を調べたり、楽器の奏法を確かめたりする上で資料性が高く、また鑑賞教材の時代的な位置づけや背景を理解する上で有用である。</p> <p>○各教材の下に脚注が置かれ、作品の理解の補助となる。</p> |
| 2 組織・配列・分量 | <p>学習指導を有効に進めるための組織・配列・分量</p> | <p>【音楽 I】</p> <p>○表現領域においては、学習活動を焦点化した題材のもとにさまざまな教材が集約されている。歌唱では、日本の歌からヨーロッパの歌曲、合唱曲まで幅広いジャンルから選曲されている。器楽では、リコーダーやギターの演奏に適した教材のほか、導入時に有用な手ほどきのページも設けられている。身体を用いたリズム・アンサンブルなど、生徒の興味を引き出す教材も取り上げている。</p> <p>○創作は「音のスケッチ」の各コーナーにまとめられており、音楽のしくみを理解しながら、個性豊かに創作活動が展開するように配慮されている。</p> <p>○鑑賞領域においては、曲種や音楽史などの視点から題材が設けられ、バランスよく選曲されている。雅楽の鑑賞や演奏に取り組む題材や近隣諸国の音楽に目を向ける題材などが設けられ、音楽の多様性や美しさにふれることができるように配慮されている。</p> <p>○総合芸術を扱う「Dramas&Music」では、さまざまな舞台芸術を紹介するページが設けられている。オペラやミュージカルなどの作品を鑑賞したり、歌唱したりすることにより、学習が深まっていくように配慮されている。</p> <p>【音楽 II】</p> <p>○歌唱では、混声合唱作品に作曲家からのメッセージが掲載されており、表現活動を行う上で有用である。器楽においても、小品から器楽合奏まで幅広く取り上げている。</p> <p>○「音のスケッチ」は、音楽 I の諸活動を踏まえ、さらに深化、発展させることができるよう工夫している。</p> <p>○鑑賞では、世界各地の踊りに焦点化した題材や、現代音楽を紹介した題材などを設け、生徒の興味を引き出せるよう工夫している。</p> <p>○「Dramas&Music」では、オペラ「トゥーランドット」の物語と音楽の関わりに着目する題材のほか、「羽衣伝説」に焦点化したコーナーまで、幅広い活用が期待できる。</p> |
| 3 表記・表現および使用上の便宜 | <p>*学習意欲を高めるための配慮、用語・記号の取り上げ方および記述の方法</p> <p>*印刷の鮮明度、活字の大きさ、行間、製本など</p> | <p>○用語、記号は特殊なものは楽譜下に、汎用性の高いものは巻末にまとめて掲載されている。楽典、楽式に関するものや作曲家の肖像なども表や図版により見やすくまとめられている。またギターやキーボードの一覧表もあり、資料として有用である。</p> <p>○A4 判の判型で楽譜もゆったりして、音符や歌詞がたいへん見やすい。また紙質は白く、印刷も鮮明で、各所にあるカラーの図版や写真が美しく、生徒の学習意欲を高める。表紙はコーティングが施され、製本も堅牢である。</p> <p>○CUD に配慮した色づかい、紙面構成が工夫されている。</p> |
| 4 総合所見 | | <p>○音楽文化についての理解を深め、表現と鑑賞の能力を伸ばすのにふさわしい教材や写真・図版が精選されており、創造的な音楽の力、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てることが意図されている。</p> <p>○全般にわたり指導要領の目的に沿った学習内容を基本としながら、普遍的な価値をもつ教材と新しい教材がバランスよく配置されている。</p> |